

記事 1. 「職員の安全教育に関する研修会」の開催

2. 平成25年7月の全国地下鉄輸送人員速報

1. 「職員の安全教育に関する研修会」を開催しました。

「職員の安全教育に関する研修会」を、去る9月25日(水)の14時からJR東日本安全企画部長 渡利千春氏を講師に迎え、16事業者の担当者21名が参加し、開催しました。

この研修会は、地下鉄事業等交通事業者において「利用者の輸送の安全確保は鉄道事業の最も重要な使命であるとの認識の下、今後の職員の安全教育の質の向上につなげてゆきたい」との趣旨で開催しました。

この研修会は、講師のJR東日本安全企画部長 渡利千春氏から、例えば、次のような点など、具体事例に即した示唆に富む指摘が多数ありました。

- ◆「人は、ミスをするものである」という前提に立って安全対策を考える。
- ◆死傷事故につながる恐れのある事象に、対策を集中する。
- ◆マニュアルは、シンプルでなければ、頭に入らない。マニュアルは、職員がそれを咀嚼し、それに沿って行動できるようになって始めて作った意味がある。
- ◆不測の事態において、自ら状況を把握し、どう行動すべきかを判断できる力を育てることが大切。
- ◆本社から、事故の事例を提供し、各職場でそれを自分の職場に置き換え、それと類似の事故が起きる可能性がないか議論することは、有益。



などの話がありました。

講演終了後、参加者から、JR東日本が取り組んでいる「事故・事象事例」を自分の職場に置き換えて考えることの支援ツールや「心に焼きつける」ための支援ツールなどについて多数の質問がなされ、質疑が長時間にわたる活発な研修会となりました。

2. 平成25年7月の全国地下鉄輸送人員速報がまとまりました。

次頁を参照

平成 25 年度 (第 64 回) 全国労働衛生週間 (10/1～10/7)

スローガン

「健康管理 進める 広める 職場から

(注) 必要に応じ、社内へ転送、回覧などをお願いします。

配信先を変更又は追加した方がよい場合は、新しい配信先の職名、氏名及びメールアドレスをお知らせ下さい。

本短信について、ご意見をお寄せ下さい。

連絡先： mukaida@jametro.or.jp

記者 各位

平成25年9月30日
(一社)日本地下鉄協会

平成25年7月の全国地下鉄輸送人員速報(情報提供)

平成25年7月の速報による全国の地下鉄輸送人員は、下表のとおりです。

集計対象は、東京地下鉄(株)、東京都営地下鉄、札幌市、仙台市、横浜市、名古屋市、京都市、大阪市、神戸市、福岡市の各市営地下鉄の10地下鉄です。

【7月のコメント】7月は、前月と同様、景気の回復基調などの影響により、対前年度同月比で3.1%増と、引き続き堅調な伸びとなり、18か月連続の増加となった。

年度、月	輸送人員(千人)	対前年増減(%)
平成21年度	5,246,399	-0.7
22	5,237,493	-0.2
23	5,204,845	-0.6
24	5,346,280	2.7
平成23年6月	440,972	-1.6
7月	439,076	-1.9
8月	429,460	-0.9
9月	429,336	-1.6
10月	442,746	-0.5
11月	437,092	-1.1
12月	431,206	0.4
平成24年1月	433,631	-0.1
2月	419,663	1.8
3月	439,800	6.4
4月	448,440	5.8
5月	457,937	4.5
6月	451,918	2.5
7月	453,072	3.2
8月	438,684	2.1
9月	440,284	2.5
10月	455,113	2.8
11月	448,686	2.7
12月	438,981	1.8
平成25年1月	441,254	1.8
2月	419,643	0.0
3月	452,268	2.8
4月	460,840	2.8
5月	471,458	3.0
6月	P463,038	P2.5
7月	P467,219	P3.1

(注)Pは速報値。

* 本日、この資料は国土交通記者会及び国土交通省交通運輸記者会にお届けしています。
【問い合わせ】(一社)日本地下鉄協会 業務部長 彦坂 03-5577-5182

